



深谷中だより

NO. 171
令和2年5月 臨時②
横浜市立深谷中学校
校長 榎田 卓央

もうすぐ、かな？

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、学校が臨時休業になって間もなく3か月。とても大切な学年末から学年初めのこの時期を、外出を控え過ぎてきたみなさんは、毎日“自学自習”の日々を送っていることでしょうか。仲間と会うこともなく、一緒の時間を過ごすことも出来ずに、本当に大変なダメージを受けているかも知れません。しかし、少しずつではあるけど、新たに感染する人の数も減ってきていて、大きく揺れ動いた我々の社会も、だんだんと落ち着きを取り戻し始めているのかな？と感じるようになりました。いろいろなものが3月から止まっていたけど、少しずつ動き始めたのかな？と思えることもあります。けれども、まだ油断はできません。今回のウイルスは、少し手ごわいようです。新型コロナウイルスはしたたかで、インフルエンザ等と同じように、これから人類が「共生」していかなければならないかも知れません。感染予防に出来ることを今後も続けていきましょう。

4月に深谷中学校に着任してこれまでの間、生徒のみなさんに会えたのは入学式始業式、そして課題回収日の3回だけです。今回の臨時休業は、みなさんと同じで何せ初めての経験ですから、いつ終わるかわからないこの期間をどのように過ごしていくべきか？？校長としても大いに悩みました。学校再開に備えて、いろいろな準備があります。安心して学び、そして友達と交わるみなさんの姿を想像しながらの毎日でした。衛生面、施設面の点検と確認をしながらその想像を大きく膨らませ、再開（再会？）の日を待ち続けています。

先日、こんな歌が話題になっていたことを知りました。

“しばらくは 離れて暮らす コとロとナ つぎ逢ふ時は 君といふ字に”

「コロナ」を書いてみたら、本当に『君』という字になったことに気がついた人が歌ったのでしょうか。この歌、みなさんも知っているかも知れません。外出自粛しなければならない大変で多くのつらい事だらけと人々が感じている中で、このような歌を歌い上げられる人がいることに励まされました。苦しい時も前向いて日々を送っている方なのでしょうね。そういう姿を見ると、こちらも何となく元気つけられた気がします。

もう一つ。これも今回のコロナ騒動を前向きに（？）とらえた、算数の式だそうです。

“5+6+7=18 5（コ）+ 6（ロ）+ 7（ナ）=（は）18（イヤ）”

気がついた人は、すごいなと素直に感じました。こういう緊急事態に、少しでも自分や周囲を楽しませてくれる人、楽しませようとする人には、ほんとうに頭が下がります。みなさんは休業期間中に、このような前向きな言葉を見つけることが出来ましたか？もし、あったら学校が再開した時に教えてくださいね。楽しみにしています。

その日はいつかな？「もうすぐ、かな？」。

